

事業報告

令和3年度 新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会

日時：令和3年6月4日（金） 13:00～16:00

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール 参加者：41名

（市町村38名、県：3名）

<研修趣旨>

新任の社会教育行政職員として生涯学習・社会教育に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに、業務遂行に必要な人的ネットワークづくりやスキルアップを図り、社会教育行政職員および社会教育主事としての使命と役割を理解する。

<研修内容>



【開会行事】開会あいさつ
大分県立図書館 副館長 森山 貴仁



【研修1】講義：「生涯学習・社会教育行政職員に期待する役割」
講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター教授 岡田 正彦 氏

【研修1】講義：「生涯学習・社会教育行政職員に期待する役割」

講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター教授 岡田 正彦 氏

社会教育行政職員の職務と社会教育・生涯学習の現状、職務遂行における考え方等について講義。

【研修2】講義：「社会教育に今求められている役割とは」

講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター教授 岡田 正彦 氏

前半は中教審答申の内容について紹介。後半はワークシートを用いて、密にならないよう配慮をしながらグループワークを実施。



【研修2】講義：「社会教育に今求められている役割とは」
講師：岡田 正彦 氏

【研修3】 講義：「社会変化による現代的課題と大分県の生涯学習・社会教育」

講師：大分県立図書館副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁

大分県の生涯学習・社会教育について、少子高齢化・グローバル化・家族構成の変化・技術革新や地球規模の課題への対応等に数値をあげて説明し、方向性を示した講義。社会教育とは「人と人をつなぐこと」。



【研修3】 講義：「社会変化による現代的課題と大分県の生涯学習・社会教育」

講師：大分県立図書館副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁

<参加者感想>

- 岡田先生が非常に熱心に話をしてくださり、社会教育のこと、今求められていることがよくわかりました。グループワークは楽しかったです。
- 森山副館長の話からは、社会教育にかける情熱が伝わり、がんばろうと思いました。
- 公民館長として1年間考え続けたことについて、本日の話で光が見えました。
- 入庁して初めての移動先が公民館でしたので、この2ヶ月は手探りで仕事をしていました。今日の研修で公民館業務に対して指針ができたような気がしています。
- 具体的事例がもう少しほしかった。レジメを追うことと相違なければ、コロナ禍で対面形式の講義をしている意義は薄いと感じた。グループワークはよかった。時間をとってやりたいです。
- 本研修のみではありませんが、会場に行かなくても行える仕組みをつくってほしい。働く場の状況が大きく変わっているのです。